

現代経営学応用研究

病院の経営分析・コスト分析

授業テーマと目標

医療の質と効率性の両立をはかるという社会的課題を背景に、伝統的に営利企業において導入されてきた様々な経営管理手法が病院にも取り入れられるようになってきました。部門別の損益管理やコストマネジメントなどの管理手法は主に経済性や効率性に貢献するものとして注目され導入されています。ただし、病院組織は、医療サービスのサービスとしての個別性や公共性、医療組織に従事する職員の専門性といったサービス、組織の固有の特性が経営管理システムの有効性に及ぼす影響について考慮する必要があり、経営管理システムの導入が医療組織の経営管理目的にとって逆機能を及ぼすことのないよう活用する必要があります。本授業では、病院組織の損益管理と統計的経営分析手法に焦点を当て、原価概念、コストベヘイビアの基礎を確認したうえで、病院組織の性質に合った損益管理、コストマネジメントの考え方を検討します。また、損益分岐点分析の考え方を理解し、統計的分析手法に基づいて自ら実践的に分析できるようにします。

授業の目標

1. 経営分析、コストマネジメントに関する概念、計算方法等の知識を修得する。
2. 経営分析・コスト分析を実践できる統計的手法を身につける。

担当教員

主担当 新井康平（大阪府立大学現代システム科学域准教授）
松尾貴巳（神戸大学大学院経営学研究科教授）

開講日時

第1回：11/2（火）、第2回：11/9（火）、第3回：11/16（火）、第4回：11/30（火）
いずれも、1限目 18:20-19:50、2限目 20:00-21:30。

成績評価方法と基準

- ①レポート課題（合計 80 点）：4 回分の講義前レポート（4×12 点=48 点）・最終レポート（32 点）に応じて評価をつけます。最終レポートについては、講義内で指示予定です。
- ②講義の出席状況による減点や講義への貢献度合いによる加点などが、最大 20%で実施されます。

講義方法

ZOOM による遠隔講義となります。

講義の資料など

講義の資料は、MBA コース、MMKOBЕ コース双方の学生の利便性を考慮し、新井のウェブサイトである、<https://sites.google.com/view/arailab/kobeclass> で資料配布などを指示します。なお、このウェブサイトはトップページからのリンクがないため、直接、この URL を入力してください。

講義資料は、原則として前の週までにアップロードする予定です。

各回の内容

第1回：病院におけるコスト情報の収集

内容：病院における原価の集計方法の実態について学習します。どのような目的で、どのような原価を集計しているのかの理解を目指します。具体的には、直接費の測定事例として、新井が取り組んだ胃がん検診の稼働分析について取り上げます。

事前課題：事前課題論文（栗栖ほか 2019「日本の一般病院における会計情報利用に関する実態調査」『商経学叢』65(3): 755-776, <http://id.nii.ac.jp/1391/00020166/> からダウンロード可能）を読んで、論点のメモを講義ウェブサイトのリンクからフォームに移動し、提出してください。メモの内容は、受講者ご自身が論文を読んでいるということ、教員にわかれば十分です。

備考：胃がん検診の稼働分析については、PLOS ONE の論文

(<https://doi.org/10.1371/journal.pone.0088113>) に詳細が記載されています。興味のある人は確認しておいてください。

第2回：病院における EBMgt

内容：エビデンスに基づいた医療の疫学的なアプローチを、マネジメントに応用しようとする EBMgt についての解説を簡単な分析の演習を行います。Excel が入った PC を利用しますので、各自で準備をしておいてください。なお、教員は Windows 機を利用しており、Mac の質疑応答には対応できませんので、あらかじめご留意ください。

事前課題：事前課題論文（新井ほか 2016「患者満足度と従業員満足度の影響要因」『久留米大学ビジネス研究』1: 99-110, <http://hdl.handle.net/11316/578> からダウンロード可能）を読んで、論点のメモを講義ウェブサイトのリンクからフォームに移動し、提出してください。メモの内容は、受講者ご自身が論文を読んでいるということ、教員にわかれば十分です。

備考：EBMgt は、第 5 期科学技術基本計画などでも提唱されている、非営利組織のマネジメントにおいて有望視されている手法です。ウェブで検索などすると、関連する議論が確認できるかと思えます。

第 3 回：病院におけるコスト・ビヘイビア分析

内容：コスト・ビヘイビアを測定し、コストマネジメントの基礎資料としたり、損益分岐点分析を実行することは、EBMgt の基本的なツールといえます。ここでは、実際の病院を事例にコストビ・ヘイビア分析を実施し、結果について議論します。

事前課題：事前資料（CVP 分析について）を読んで、論点のメモを講義ウェブサイトのリンクからフォームに移動し、提出してください。メモの内容は、受講者ご自身が資料を読んでいるということ、教員にわかれば十分です。

備考：病院のコスト・ビヘイビアについての詳細な分析は、会計検査院が発行する『会計検査研究』の論文でなされている（新井ほか 2021 「病院事業を営む地方公営企業のコスト・ビヘイビアとコスト構造：混雑コストの観点からの分析」『会計検査研究』 63: 75-88, <https://www.jbaudit.go.jp/koryu/study/hakkou.html> からダウンロード可能）。

第 4 回：病院に効率性分析

内容：コスト効率を算出することは、管理上、有用な情報となりえます。また、現在では、環境要因を取り除いて、病院経営能力を算出する試みが行われています。この講義では、経営能力を算出するための DEA の基礎的な分析を習得します。

事前課題：事前資料（病院経営能力ワーキングペーパー）を読んで、論点のメモを講義ウェブサイトのリンクからフォームに移動し、提出してください。メモの内容は、受講者ご自身が資料を読んでいるということ、教員にわかれば十分です。

最終レポート

最終レポート内容については、第 4 回の講義内で発表します。

質疑など

メール(arai (atmark) eco.osakafu-u.ac.jp)にて受け付けます。送付の際は、atmark を@に変換して送付ください。